

講演会

日本と中国のはざままで

3月16日(土) 13時半~16時半

会場：連雀コミュニティ・センター

2F 大・小会議室

講師：大橋春美さん(中学校教員)

本年5月に新たな元号が始まることでこの国は盛り上がっているようです。昭和という時代に体験された悲惨で過酷な戦争の記憶とその事実が忘れ去られることが懸念されます。

講師の大橋春美さんのお父さんは「開拓団」として一家で「満洲」に送られ、「満洲」で生まれ、中国に残された「中国残留邦人」です。春美さんはそのお父さんと中国人のお母さんを両親に持つ帰国者二世で、1978年にお父さんの永住帰国に伴い日本に移住しました。

中国に残された残留邦人たちは、日中国交正常化(1972年)後でなければ帰国もかなわず、ようやく帰国がかなっても、言葉の習得や就労に際して、生活に根差した長期の支援は得られず、困難な生活を強いられてきました。

帰国者二世は、中国では「日本人」の子としていじめられ、帰国後は早く「日本人」になれと無言の抑圧を受けることが多いのですが、大橋さんも自己のアイデンティティに悩みながら奮闘されてきました。大橋さんがどのように現実と格闘してこられたかをお話しいただきたいと思います。

入管法「改正」に伴い外国から移住する方がふえ、多文化共生をどうかなえるか、また中国帰国者問題の根源である戦争という惨禍を再び起こさないようにするため、大橋さんの現実を直視したいと思います。

大橋春美さんプロフィール

1970年中国遼寧省生まれ。

長野県公立中学校英語教諭。

祖父母は満蒙開拓団員として下伊那郡豊丘村から旧満洲に渡り、中ソ国境近くに入植。戦後の混乱の中で中国に残された父親はやがて結婚し、子ども4人を育て上げた。

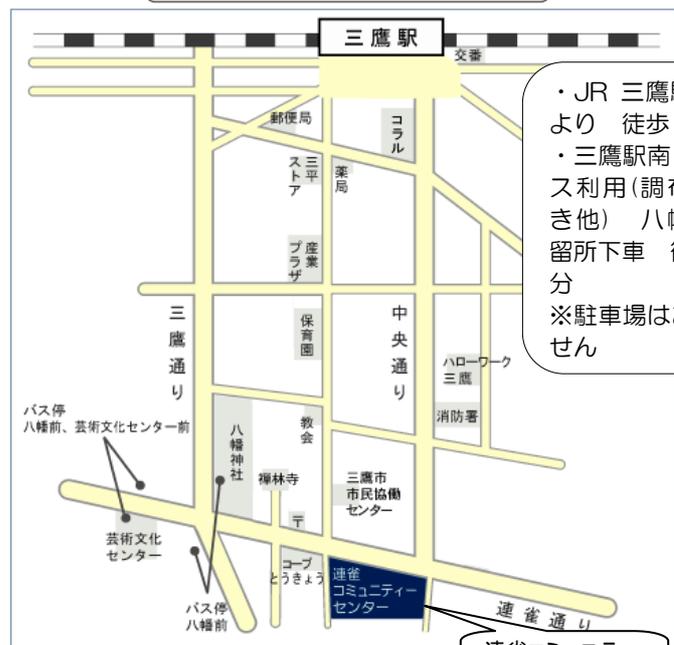
1978年、家族6人で祖父母の故郷、長野県に帰国。

2005年~2006年、文部科学省主催の「学校教育におけるJSLカリキュラム(中学校編 英語)」委員。

2007年~2010年、中国北京師範大学大学院に留学。

著書に『国際理解ハンドブック 中国と出会おう』(共著)など。

連雀コミュニティ・センター



・JR 三鷹駅南口より 徒歩 12分
 ・三鷹駅南口でバス利用(調布駅行き他) 八幡前停留所下車 徒歩 2分
 ※駐車場はありません

連雀コミュニティ・センター

連絡先：NPO 法人中国帰国者の会 TEL070-5588-7827